

人権教育に関わる年間指導計画作成のための方針

- ①一年間を通して人権尊重の考え方を意識させる指導を工夫する。……「望ましい人間関係」を軸とした学習活動を展開する。(思いやり)
  - ②体験活動や身近な問題から課題を見付けられるよう援助する。(自己実現)
  - ③日常の教育活動(友達とのかかわり、発表、話し合い活動など)においても、人権尊重の理念を意識して指導にあたる。(人間関係)
- ※特に①に重点を置いて考える。

5年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
各教科	国語 「名前をつかって自己紹介」言葉には相手とのつながりをつくる働きがあること						国語 「よりよい学校生活のために」互いの立場や意図を明確にしながら、話し合い、考えを広げる。				家庭科 「いっしょにホットタイム」自分の家族に合ったふれあいや団らんの方法を工夫する。							
	家庭科「家族の生活再発見」家族が各々の役割をもち協力し合って生活していることを知る。						体育 「セストボール」互いに教え合ったり、励まし合ったりして、協力して練習やゲームができる。		理科「人のたんじょう」命の大切さについて考える。									
社会「私たちの食生活を支える食料生産」「工業生産とわたしたちのくらし」職業には、いろいろあり、どの仕事も大切であることを知る。												社会「情報社会に生きるわたしたち」情報を利用するときは、他の人とのかかわりも考える。		社会「国土の環境を守る」公害問題を知り、国土の自然を大切にすることについて考える。				
道徳	B 友情、信頼 「泣いた赤鬼」友達どうしの相互の信頼のもとに、人格を尊重し合いよりよい人間関係を築いていこうとする心情を育てる。		C 公正、公平、社会主義 「どうすればいいんだ」誰に対しても差別をしたり偏見を持たったりすることなく、公正公平にし、正義の実現に努めようとする心情を育てる。		B 友情、信頼 「心のレシーブ」友達と互いに理解し合い、よさを認め合いながら人間関係を築いていこうとする心情を育てる。  (いじめ防止授業)		A 善悪の判断、自律、自由と責任 「共有しちゃえ」自由を大切にし、自律的に責任のある行動をしようとする心情をほぐくむ。		C よりよい学校生活、集団生活の充実 「かれてしまったヒマワリ」集団の中で自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとする態度を育てる。		B 相互理解、寛容 「プランコ乗りとピエロ」自分と異なる意見や立場を尊重し、広い心で人と接しようとする態度を育てる。 (いじめ防止授業)		A 希望と勇気、努力と強い意志 「ペーターペン」困難があってもくじけず、希望をもって自分の夢や目標を実現しようとする意欲を育てる。		B 親切、思いやり 「くずれ落ちたダンボール箱」思いやりの心を持ち相手の立場に立って親切にしようとする態度を育てる。 (いじめ防止授業)		A 個性の伸長 「感動したこと、それがぼくの作品」自分の特徴を知り、短所を改め長所を伸ばそうとする態度を育てる。	
	なかよし班活動																	
特別活動	学級活動 学級目標の設定の際に「仲のよいクラス」について話し合う。												「6年生ありがとう」6年生を送る会を計画し、異学年との交流を通して、よりよい人間関係を育てる。					
総合的な学習											「共に生きる」車椅子体験、高齢者疑似体験、障がい者スポーツなど、障害のある方との交流を通して、相手をおもいやる気持ちを育てる。		「6年生プロジェクト(感謝の気持ちを伝えよう)」6年生へ感謝の気持ちを伝えるために、自分の役割を果たす。					
その他	運動会 生活指導 あいさつをしよう ことばづかいに気を付けよう		移動教室		生活指導 気持ちのよいあいさつをしよう 友だちの気持ちを考えて行動しよう		音楽会				卒業式 生活指導 校舎や教室をきれいにしよう							